

さんき



—発行H27年11月No. 226—
 ☎861-8072 熊本市北区室園町 20-40
 TEL096-346-3323 fax096-346-3610
 児童発達支援センター 三気の家
 e-mail non.kon.gen@titan.ocn.ne.jp

『一人一人合わせた言語訓練』

当園では言語訓練を開始するにあたり、言語面に関する検査を事前に実施しています。検査では、どのような事が分かり、どのような事が分かりにくい事なのか詳細に調べていきます。また、教材や刺激に対してどのような興味や関心をどの程度示すのか等についてもチェックをしていきます。更に、物の見方や操作の仕方といった動作性の面もチェックをしていきます。このように言語能力とその関連能力に関して多方面にわたり客観的に把握していきます。言語の発達はあくまでも全体的な発達の一部です。言語面だけでなく全体的な発達を促すはたらきかけも合わせて大切だと考えています。全体的な発達を促すアプローチの一つとして当園では集団療育が挙げられます。集団療育に言語訓練担当スタッフも携わっているのので、検査結果だけでなく、療育・生活場面の言語行動や行動傾向等から総合的に考え、訓練目標や課題等の訓練プログラムを立てています。

プログラムに沿って個別の訓練を行っていきますが、訓練時間に学んだり身に付けた事は、集団療育の場面での活用へと汎化を図っていきます。例えば、発音出来る音を増やしていく取り組みの次の段階として、言える音を組み合わせて身近な物や興味のある物・人のネーミングへと進めていきます。このネーミングの課題では、取り組む語を自分の名前とし、集団療育やグループ訓練の場等で発表する事で自己紹介へと進めます。この段階で『コミュニケーションの場』の拡大、そしてネーミングから報告・伝達へと『言葉の使用や役割』の拡大へと進展を図る事が出来ます。

次の段階として、「お名前は何か?」の質問や指示語に対して名前を答える事で、『質問応答』というやり取りの拡大へと進めていきます。このように、現段階の能力を園生活や家庭生活といった小さな社会の中で汎化や進展を図れる場面や状況を計画的に設け、言語・コミュニケーション能力の発達の後押しをしていきたいと思っております。今回の学習会では、課題の進展のさせ方についてやこれまでの訓練の中で得られた留意点等について、教材を用いてお話しします。

言語聴覚士 古川 昌美

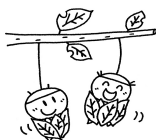
☆ファミリー学習会☆

- ◆テーマ : 『言語訓練～どう取り組もう、どう進展させよう』
- ◆日時 : 平成27年11月26日(木) 午前10時～12時
- ◆場所 : 三気の家 2階 プレイルーム



☆ ありがとうございます ☆

- ◆動作法勉強会 : 森 芳輝様、土井宗門様
- ◆療育ボランティア : 児玉、静子様、鳥居 世奈様
- ◆幼児DRボランティア : 鳥居 世奈様 辻 史様、森本梨沙様



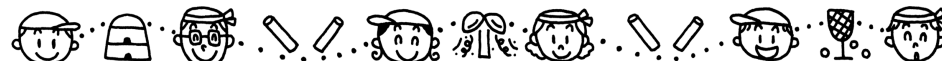
【約束を決めて頑張っているY君】

年長のY君は帰宅後の遊びの展開が上手く出来ず、遊びが偏ったり、上手く終われなかつたりとなかなか進展出来ないうままにいました。そこでお母さんと約束を3つ決めて毎日取り組む様にしました。約束の1つ目は、「タイマーがなったら、パソコンを使うのをやめる」「パソコンで遊んだ事を報告する」、2つ目は、おもちゃの「片づけ」をする事、3つ目は次の日の準備（決められた道具、洋服等）をする事です。

取り組み当初は、本人とスタッフで約束表を見て約束事の確認を行い、家庭でお母さんに出来た項目には○を付けて結果を知らせてもらう様にしました。次の登園日には約束表を見ながら本人と確認を行い、出来た場合はシールを渡して表に貼ってもらう様にしました。頑張った結果が約束表に残り、視覚的に振り返りやすく満足感を味わいやすい事もモチベーションを保つツールとしては良かったと思います。その結果、数日間続けて○が続き、シールが増えると、それを見て本人もとてもうれしそでした。次の段階として、約束表でのやり取りを徐々に減らしていき、口頭で本人に確認するようになりました。約束の内容を忘れず答える事ができ、出来ているとの報告も受けました。お母さんに確認すると、「声かけは必要ですが、意識して出来る事が増えています」との事でした。今後は、Y君が取り組みを意識し、自ら動けるような言葉かけなど工夫していこうとお母さんと話しています。約束に向けての取り組みの成果が、本人の表情からも良く見られる様になってきたと思ひ、頼もしく感じています。これからも頑張っていきたいと思います Y君!!

【みんな頑張った!! 幼児ダイナミックリズム】

去る10月10日、清水スポーツセンターに於いて幼児ダイナミックリズム(ミニ運動会)を行いました。保護者の方々に子ども達の取り組んでいる姿を見て頂く為に、リズム運動やサーキット活動、そして集団で行う言語訓練等、日頃療育で行っている事を競技にアレンジしてプログラムに組み込みました。リズム運動では、ボランティアの鳥居さんのピアノ伴奏で、音楽を聴いて判断して動いていく事に挑戦しました。トンボのめがねやぞうさん、お馬の親子など子ども達も音楽を聞き分け判断して動く事が出来ていました。年長保護者有志20名による人間教材(ダンス)では、様々なコスチュームに身を包み、ダイナミックなダンスを披露して頂きました。いつもと違うお父さん、お母さんの姿に子ども達は圧倒され目を丸くして見入っていました。練習の時から徒競走等で1位になれなくても最後まで頑張って走る事や、泣いたり怒ったりしない事など競技内容の取り組みだけでなく、ルールやマナーについても何度も練習してきました。その成果もあり子ども達は、競技に集中し参加する事が出来ました。保護者の皆様、ボランティアの方々、総勢100名の方々と共に楽しい1日を過ごす事が出来ました。子ども達を見守り、温かい声援を送って下さった皆様、ありがとうございました。



地域療育支援事業のお知らせ

☆個別療育相談は、随時、お受けします。電話で予約して下さい。(午後3時より)

【 集団療育 】

- ハッピークラブ : 11月 4日(水)
 - ◆ラッキークラブ① : 11月18日(水)
 - ◆ラッキークラブ② : 11月25日(水)
- ☞欠席される方は、必ずご連絡下さい。

【 作業 】

- ◆作業 : 11月11日(水)
 - ・時間 : 午後3時45分～4時45分
 - ・対象 : 高学年、中高生
- ☞欠席される方は、ご連絡下さい。